

世界へ日本の文化を  
お届けされている三英堂代表取締役岡敏和  
氏をご紹介します。

「仙田君う。お菓子  
食べるう。」と、会社  
へお伺いするたびにお  
誘いの言葉。

もちろん、ありがた  
く“ごつつかん”です。

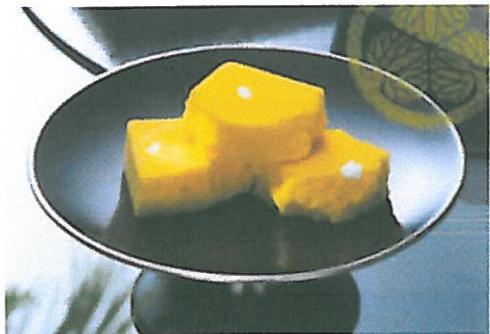
三英堂さんは「カス  
テラ」「菜種の里」で  
有名な松江の伝統を継  
承する老舗の和菓子店

**手作り和菓子で  
松江を全国へ  
そして世界へ**



# 空のポケット

発行人  
株式会社  
文泉堂  
編集人  
仙田利夫



さんです。行くたびに職人さんが丹精込めたその季節のお菓子を頂きます。これが旨いんです。柔らかくい求肥(ぎゅうひ)に、上品な甘さの(あん)。

どうしたらこんな季節の色が再現できるのだろうと思う美しさであります。

全国の大切な方へ是非、送つて頂きたい松江の逸品です。

岡社長が県外へ販路を拡大し始められた頃、パンフレットさえ業界では珍しく、岡社長はサンプルをカバンに詰めて新宿や渋谷のデパートへ飛び込み、販路開拓をされたそうです。今は、宅配便に頼めば翌日か、翌々日にはお客様の元に届きますが、その時は夜行列車に荷物を載せてもらい商品を送るか、郵便小包で送っていた時代。

その頃までの業界は松江市内のお客様で充分に生業（なりわい）ができた時代だつたそうです。ところが大規模小売店舗立地法が改正され、大規模ナショナルブランチが進出し始め地元だけではご飯が食べらるくななる変化が訪れたのをきっかけに、市外へ販路を拡大されたります。

「岡社長の経営理念は、  
「手作り」「技術を若  
い職人さんに伝え継承  
する」「しののめづくり」など代々伝わる  
製法をもちいて三英堂  
さんオリジナルの“色  
を楽しみ”、“形を楽し  
しみ”、そして“味わつ  
て頂ける”お菓子を提

经营理念



「丁度、やマトさん  
の営業所が松江にできて  
日に何度も持つて行つたね。持つて行くと送  
料を100円値引いて  
くれたんだよ。」と小  
さな積み重ねを大事に  
される岡社長らしい  
えをそれとなく伝え  
て頂きます。

一〇〇四年から始まつた中小企業庁のJAPANブランド支援育成事業、「松江・和菓子モダンブロジエクト」は二〇〇八年で終了し、今は、NEW松江菓子海外展開事業を展開していらっしゃいます。岡社長はそこの委員長をされており、今年もニューヨークへ強行軍で行かれたそうです。

供し続ける事」だねえ」と、いつもの笑顔。そして「時代の流れに合わせてやつて行かんといけん事は、やらんといけん」とも。